

7/18(土)・
7/19(日)

現代の思春期・ 青年期を考える

企画講師

青溪会駒木野病院
顧問

齊藤 万比古 先生

日時

2026年7月18日(土)
13時～16時40分
2026年7月19日(日)
10時30分～16時30分

費用

15,000円(税込)

定員

80名

会場

明治安田こころの健康財団 講義室
住所：東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線、西武新宿線、
東京メトロ東西線「高田馬場駅」より
徒歩約7分

申込

財団HPより申し込み受付
期限：7月16日(木)まで

スタンダード講座3



◆当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として
(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を
受けております。 <承認期間:2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号:20210392>

現代の思春期・青年期を考える

—思春期・青年期を生き延び心を育むための支援とは何か—

思春期・青年期のこころの治療・支援はどうあるべきか考える際、Blos P.の青年期論をはじめ先人の思春期・青年期心性に関する理論をそのまま当てはめることは難しいとしても、子どもの心の発達論に基づかない思春期・青年期心性の治療・支援は成立しないことも心得ていなければなりません。

現在の思春期・青年期の子どもや青年は多くの課題に直面しており、それは人生の早期から否応もなく背負わされた逆境体験、学齢期になって直面する学校生活での困難、そして思春期以降出会いがちなゲームやSNSへの依存、あるいは自傷・自殺への誘惑など多岐にわたっています。

こうした困難にこの年代の子どもはどう巻き込まれ、どんな治療・支援を提供されることでそこから立ち直ることが可能になるのかについて、本講座は各課題のスペシャリストに関連する発達論を踏まえてわかりやすく語っていただき皆様の理解を深めてもらうことを目指します。

【企画講師：齊藤万比古】

	時間	テーマ／講師（敬称略）
7月18日 (土)	13:00～ 14:20	護り育まれるべき思春期・青年期心性とは何か 齊藤 万比古（青溪会駒木野病院 顧問）
	14:35～ 15:55	児童虐待を受けた発達障害の思春期・青年期 岩垂 喜貴（青溪会駒木野病院 児童精神科部長）
	16:10～ 16:40	総合討論 齊藤 万比古×岩垂 喜貴

	時間	テーマ／講師（敬称略）
7月19日 (日)	10:30～ 11:50	思春期・青年期のひきこもりとインターネット・ゲーム依存 館農 勝（さっぽろ悠心の郷ときわ病院 理事長）
	11:50～ 12:50	～ 休 憩 ～
	12:50～ 14:10	性虐待・性犯罪・性加害児童における思春期・青年期 上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所 診療所長）
	14:25～ 15:45	児童・思春期の諸問題に関する地域連携による支援の可能性と課題 牛島 洋景（うじまこころの診療所 院長）
	16:00～ 16:30	総合討論 館農 勝×上野 千穂×牛島 洋景

<注意事項>

- ・時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】公益財団法人 明治安田こころの健康財団

【照会先】〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10 E-mail: moushikomi@my-kokoro.jp

TEL: 03-3986-7021 FAX: 03-3590-7705